

洞関町内会 自主避難計画

洞関町内会は、住民全員が**雨の量**や**周辺の様子**に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

！ 雨と土砂災害の関係を知りましょう

土砂災害の多くは、水（降雨、地下水）が関与しています。自宅雨量を計測する習慣をつけましょう。なお、カップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です。

雨が降り始めたら、**地面で跳ねた雨が入らない高さで平らな場所に、カップ酒の瓶などの寸胴の容器を設置する。**



！ 行政からの情報に注意しましょう

土砂災害や洪水が発生する可能性が高くなると、防災気象情報の他に行政から次のような情報が発表されることがあります。これらの情報が発表された場合には、すぐに避難を開始してください。

土砂災害警戒情報・・・地域の雨量などを考慮して、土砂災害発生危険性が高まった地域に対して、気象台と県から市町村単位で発表される情報

避難勧告・避難指示・・・災害によって被害を受ける可能性の高い地域の住民に対して、市町村から発表される情報

！ 前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう

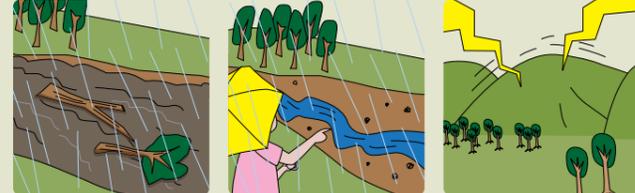
土砂災害が発生する前には、予兆現象が見られることがあります。大雨が降ったときには、周りの様子に注意して、次のような状況を見つけたら、直ちに避難を開始してください。

がけ崩れの発生前には・・・



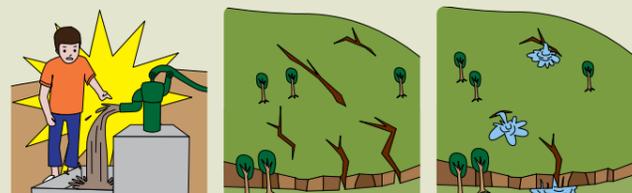
がけに割れ目が見える
がけから水が湧き出ている
がけから小石がぱらぱら落ちてくる

土石流の発生前には・・・



急に川の流れが濁り、流木が混ざっている
雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
山鳴りがする

地すべりの発生前には・・・



沢や井戸の水が濁る
地面にひび割れができる
斜面から水が噴き出す

この他にも・・・

- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる など

！ 災害情報サービスをご活用ください

釜石災害110番 ☎ 0800-8003199（通話料無料） ※岩手県内の固定電話・携帯電話・PHSから利用可能です。
市内の雨量情報・防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。

① 日頃からやっておくこと

- 裏面の防災マップを参考に、**地域内の危険箇所**や、大雨が降ると見られる**予兆現象**、いざというときの**避難場所**（比較的安全と思われる建物）、**避難経路**、**住民間の連絡方法**を確認しておきましょう。
- カップ酒の瓶などを用いて、雨量を計測する習慣をつけておきましょう。（1時間に20mm、連続雨量で100mmの雨で土砂災害が起こりやすいとされています。）

② 雨が降り始めたら、自宅周辺の状況に注意を払う

- 土砂災害が起こる目安の雨が降っていないか、家の外の様子を確認しましょう。
- **避難開始の目安となる現象**が起きていないか、自宅周辺の様子を確認しましょう。



③ 避難開始の目安となる現象を発見したら、役員に報告して、すぐに避難する

- 自主防災会の役員等に報告しましょう。
- 身の安全を第一に考えて、避難を開始しましょう。



避難開始の目安となる現象

いずれか1つでも見つかった場合は、自主避難を開始してください。

- 井天沢の導水管が4分の3まで詰まった場合
- 井天沢の水が濁った場合
- 普段は水が流れていない沢に水が流れ出した場合
- 甲子川の水位が、1班の畠山様、川村様宅付近で、土手下1mの高さまで達した場合
- 甲子川の水位が、洞泉橋橋脚の半分の高さまで達した場合
- 甲子川の水位が、14班千葉様、木下様宅付近で、土手下1mの高さまで達した場合
- **甲子川南側(5班)** 1時間に20mm以上の雨もしくは連続雨量で100mm以上の雨が降った場合

いざというときの避難場所

周辺の様子に注意して、身の安全を第一に考えた対応をとってください。

日月神社、八幡神社、特別養護老人ホーム 仙人の里、グループホームさくら、仙人峠道路下のボックスカルバート、雇用促進住宅サンコーポラス洞泉1号棟、雇用促進住宅サンコーポラス洞泉2号棟へ避難

※ただし、避難場所への移動が危険な場合は、近隣の少しでも安全と思われるお宅にまとまって避難するか、無理に屋外に避難しないで、自宅のなるべく高い階や沢・山から離れた側の部屋で待機してください。

※この計画は平成26年10～12月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、洞関町内会として検討したものです。

洪水・土砂災害緊急避難地図

洞関町内会

現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存しすぎず、**地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげる**ことが大切です。

住民懇談会で把握した地域内の危険箇所および避難場所

- 降雨時に確認される**予兆現象**および**危険箇所**
- 過去に**災害が発生した場所**および**危険だった場所**
- **比較的安全**と思われる**建物**
- **避難開始の目安**となる**現象**

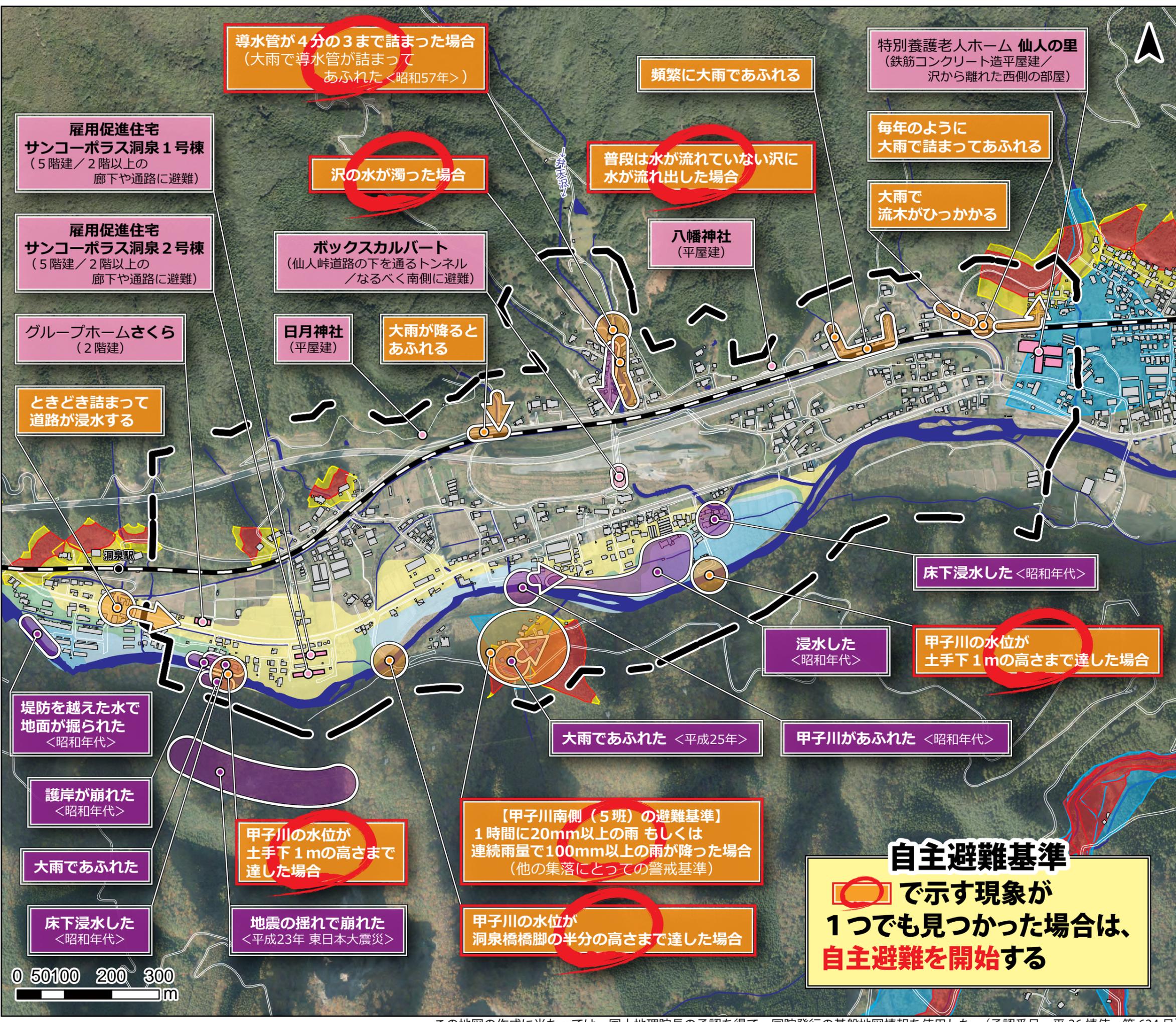
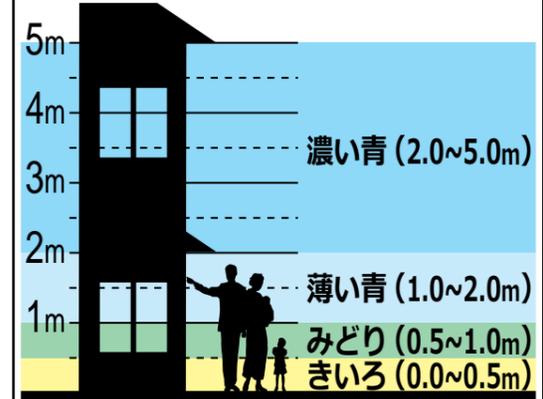
土砂災害の危険性

(岩手県砂防基礎調査結果に基づく)

- 土砂災害の危険性が**特に高い**と考えられる区域 (急傾斜地の崩壊・土石流)
- 土砂災害の危険性が**高い**と考えられる区域 (急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害の危険性が**高い**と考えられる区域 (土石流)

洪水ハザードマップ

(甲子川浸水想定区域図に基づく)



導水管が4分の3まで詰まった場合
(大雨で導水管が詰まってあふれた<昭和57年>)

頻りに大雨であふれる

特別養護老人ホーム 仙人の里
(鉄筋コンクリート造平屋建 / 沢から離れた西側の部屋)

雇用促進住宅 サンコーポラス洞泉1号棟
(5階建 / 2階以上の廊下や通路に避難)

沢の水が濁った場合

普段は水が流れていない沢に水が流れ出した場合

毎年のように大雨で詰まってあふれる

大雨で流木がひっかかる

雇用促進住宅 サンコーポラス洞泉2号棟
(5階建 / 2階以上の廊下や通路に避難)

ボックスカルバート
(仙人峠道路の下を通るトンネル / なるべく南側に避難)

八幡神社 (平屋建)

グループホームさくら (2階建)

日月神社 (平屋建)

大雨が降るとあふれる

ときどき詰まって道路が浸水する

床下浸水した<昭和年代>

浸水した<昭和年代>

甲子川の水位が土手下1mの高さまで達した場合

堤防を越えた水で地面が掘られた<昭和年代>

大雨であふれた<平成25年>

甲子川があふれた<昭和年代>

護岸が崩れた<昭和年代>

甲子川の水位が土手下1mの高さまで達した場合

【甲子川南側(5班)の避難基準】
1時間に20mm以上の雨 もしくは連続雨量で100mm以上の雨が降った場合 (他の集落にとっての警戒基準)

自主避難基準

○で示す現象が1つでも見つかった場合は、**自主避難を開始する**

大雨であふれた

床下浸水した<昭和年代>

地震の揺れで崩れた<平成23年 東日本大震災>

甲子川の水位が洞泉橋橋脚の半分の高さまで達した場合

